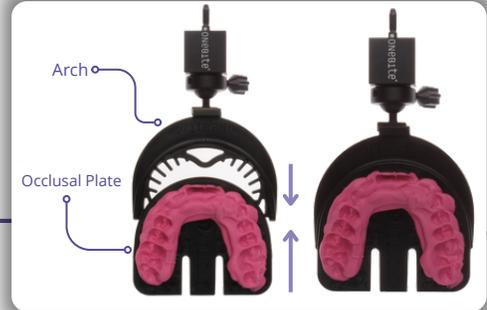




## 技工士システムプロトコル



1 技工所は、医師からキューブ、咬合アーチ、Z値とY値の数値、およびそれらの画像を受け取ります。



2 咬合プレートに咬合材を装着し、アーチに接続します。キューブには上顎の記録がロックされているため、ボールジョイント周りのリングを緩めたり動かしたりしないようにしてください。



3 使用するアーティキュレーターを選択します (OneBite Evolutionは、Stratos、Artex、Panadent、Denar Mk2、Denar MK320、Kavo、SAMに対応しています)。



4 アーティキュレーターの上部メンバーとストップパーピンを取り外します。



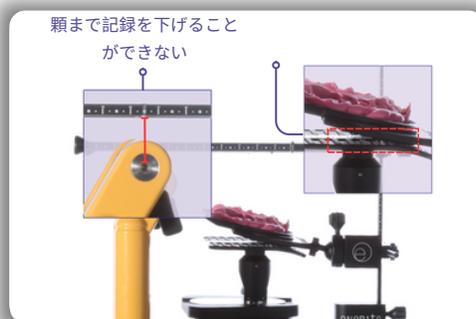
5 コアをアーティキュレーターのプレートに、0度の位置にある上部マーカと揃えて配置します。片側を0度に正しく配置し、もう片側を下げて簡単に設置します。



6 コアを0度に合わせて、OneBite Evolutionのスライダをアーティキュレーターに取り付け、磁気使い捨てマウントプレートをコアに取り付けます。

**S1** 各アーティキュレーターの下部マウントプレートと顎間の距離は異なります。症例のベースライン (Z) とミッドライン (Y) の測定値、および使用するアーティキュレーターのブランドによって、長いコアを使用するか短いコアを使用するかが決まります。以下の表で、長いコアと短いコアの使用条件を確認してください。

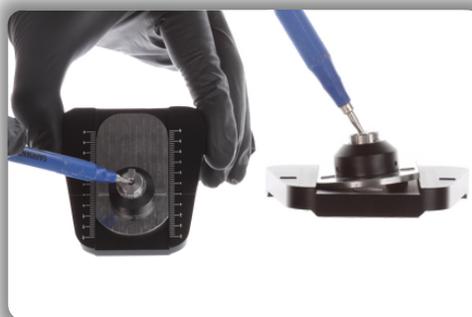
アーティキュレーター	長いコア	短いコア
STRATOS	ミッドライン (Y): 25以下	ミッドライン (Y): 25以上
ARTEX	ミッドライン (Y): 45以下	ミッドライン (Y): 45以上
DENAR MARK 2	ミッドライン (Y): 36以下	ミッドライン (Y): 36以上
DENAR MARK 320	ミッドライン (Y): 50以下	ミッドライン (Y): 50以上
SAM	ミッドライン (Y): 35以下	ミッドライン (Y): 35以上
KAVO	ミッドライン (Y): 35以下	ミッドライン (Y): 35以上
PANADENT	ミッドライン (Y): 55以下	ミッドライン (Y): 55以上



短いコアの取り付け



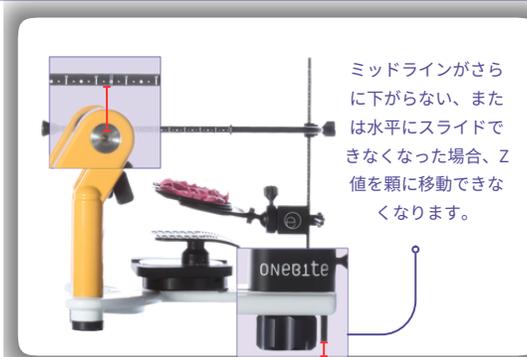
短いコアを取り付けるには、コアのマーカーをアーティキュレーターのプレートの0度のマーカーに合わせます。小さな工具を使用して上部に挿入し、正しい位置に落とし込みます。



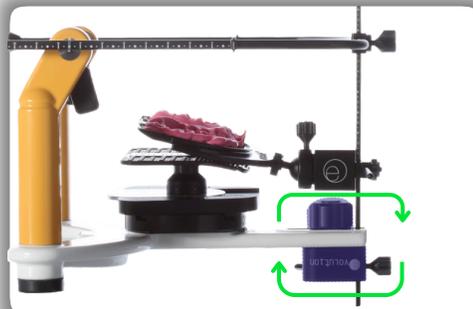
短いコアを再調整する必要がある場合は、小さな工具を使用して、上部に挿入し、調整のためにコアを取り外します。

**S2** 各アーティキュレーターの前部ピンと顎間の距離は異なります。症例のベースライン (Z) とミッドライン (Y) の測定値、および使用するアーティキュレーターのブランドによって、短いコアを垂直に回転させるか、水平に回転させるかが決まります

アーティキュレーター	スライダーを垂直に反転させる	スライダーを水平に反転させる
STRATOS	ベースライン (Z): 46-62mm	ミッドライン (Y): 50-66mm
ARTEX	ベースライン (Z): 45-63mm	ミッドライン (Y): 60-76mm
DENAR MARK 2	ベースライン (Z): 52-66mm	ミッドライン (Y): 56-75mm
DENAR MARK 320	ベースライン (Z): 50-65mm	ミッドライン (Y): 50-60mm
SAM	ベースライン (Z): 52-70mm	ミッドライン (Y): 52-70mm
KAVO	ベースライン (Z): 57-75mm	ミッドライン (Y): 35-70mm
PANADENT	ベースライン (Z): 55-70mm	ミッドライン (Y): 72-90mm



スライダーを垂直に反転させる



スライダーをアーティキュレーターから取り外し、垂直に回転させて、アーティキュレーターの前部ピンとスライダーストッパーのネジが上向きになるようにし、スライダーの前部ネジが外向きになるようにします。再度ミッドラインをスライダーに挿入し、前部ネジを締めます。

スライダーを水平に反転させる



スライダーをアーティキュレーターから取り外し、水平に回転させて、スライダーの前部ネジがマウントプレートに向くようにします。再度ミッドラインをスライダーに挿入し、前部ネジを締めます。

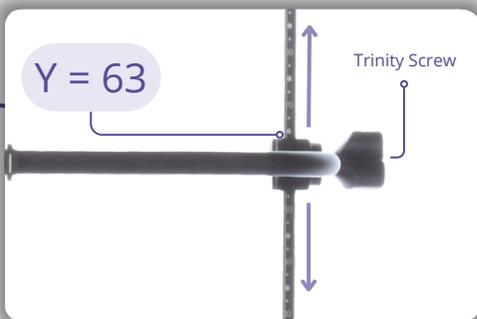


既存のピンストッパーネジ (Kavoと ArtexにはOneBite提供のネジを使用)。

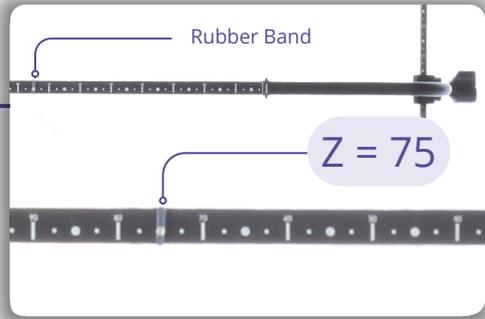
**7** アーティキュレーターのピンストッパーのネジでスライダをしっかりと固定します。KavoまたはArtexアーティキュレーターをお使いの場合は、キットに付属のOneBiteネジを使用してください。プレートとスライダーはアーティキュレーターのブランドによって異なります。



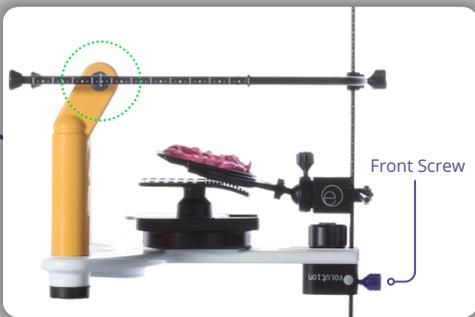
**8** ミッドラインバー、水平バー、およびベースラインをキューブに取り付けます。



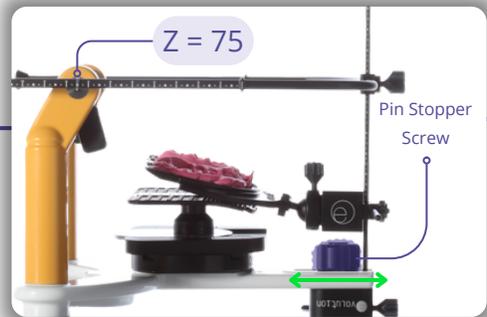
**9** すべてのパーツを取り付けたら、医師が指定したミッドライン (Y) の値にミッドラインバーをスライドさせます。数字がベースラインの上にあることを確認し、トリニティネジを締めます。



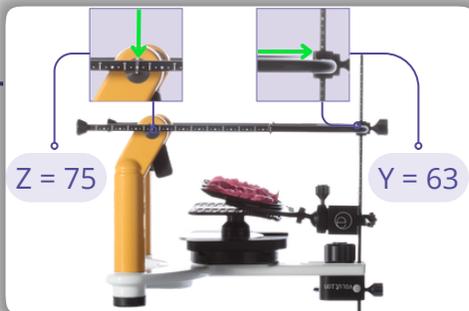
**10** ベースライン (Z) の値を示すために、医師が提供したベースラインの値までゴムバンドを移動させます。



**11** スライダーの前部ネジを緩め、ミッドラインを上下に調整して、ベースラインを顎に合わせます。転送プレートがアーチに少し触れている場合は、アーティキュレーターのプレート上でコアを後ろに動かして、スペースを確保します。咬合材で記録を固定するのに十分な表面積があることを確認してください。



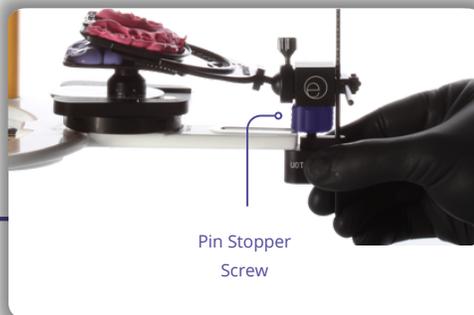
**12** 医師が提供したベースライン (Z) の値を顎の中心に合わせます。これを行うには、スライダーをピンストッパーネジを使用して前後に動かし、Z値を顎に合わせるようにシステム全体を調整します。



**13** 記録が正しい位置にあることを確認し、医師が提供した数値が正しく配置されているか確認します。ベースライン (Z) の値が顎の中心 (この場合は75) と一致しており、ミッドラインの値 (Y) がベースラインの上に正しくロックされています (この場合は63)。



- 14 使い捨ての咬合プレートと咬合アーチの間に高速硬化型の咬合材を塗布し、前後の両方に適用して完全に固定します。



- 15 咬合材が完全に硬化したら、スライダーからネジを外し、アーチを含むすべてのコンポーネントを引き抜き、マウントテーブルに咬合プレートだけを残します。



- 16 これがスムーズにスライドしない場合は、キューブからナットを外し、スライダーを使用してすべてのコンポーネントをスライドさせ、キューブをそのままにします。次に、アーチとキューブを咬合プレートから外します。キューブから装置を取り外す前に、ピンストッパーネジが緩んでいること、およびキューブを固定しているナットが取り外されていることを確認してください。



- 16a キューブをアーチに取り付けたまま、咬合プレートから取り外します。



- 17 咬合プレートの上を上顎模型を配置します。

# スタイラスプロトコル

\*別売\*



- 18** この手順は、スタイラスを使用して、適切なベースラインで模型を研削したい技工士向けです。スタイラスを使用し、鉛筆の芯を使って模型全体に水平なマークを付け、ベースラインを記します。ミッドラインのマーキングには、スライダを再度挿入し、スタイラスのミッドラインアタッチメントをスライダーに取り付け、スタイラスの鉛筆を取り外してマークを付けます。



- 19** この手順は、スタイラスを使用して、マウントに適した正確なミッドラインをマーキングしたい技工士向けです。スライダをアーティキュレーターに挿入し、ミッドラインマーカーを挿入します。スライダーネジを使用してミッドラインマーカーを希望の高さに調整します。スタイラスの鉛筆を取り外し、ミッドラインマーカーのアームに挿入し、模型にミッドラインをマークします。



- 20** スタイラスを使用してベースラインをマークした場合は、モデルトリマーを使用してそのラインを研削します。スタイラスを使用しなかった場合は、通常通りに模型を研削してください。

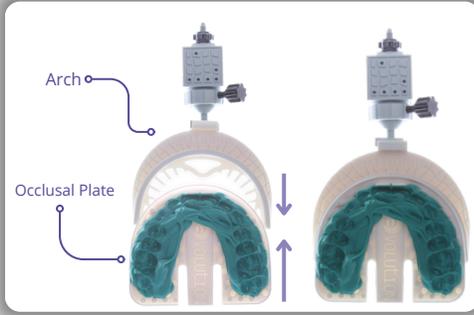


- 21** 研削したベースラインに合わせて、正しく準備された模型を戻します（これで模型はベースラインに平行になります）。

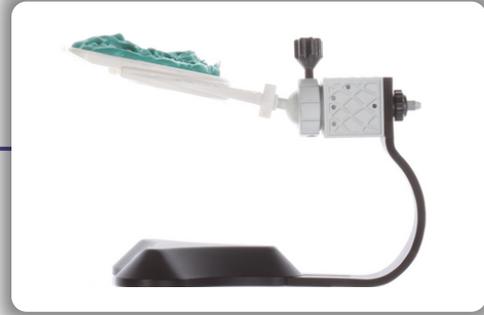


- 22** アーティキュレーターの上部メンバーとピンストッパーを再取り付けします（模型がアーチ内に接続された状態で、前のステップで示したように取り付けます）。空間を石膏で満たし、上顎模型をしっかりと取り付けます。石膏が固まったら、咬合プレートを取り外し、上顎に下顎模型を取り付けます。

# 技工士システム デジタルキューブプロトコル



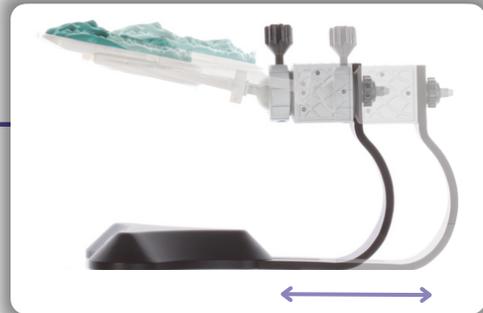
1 合プレートに咬合材を接続し、アーチに取り付けます。キューブには上顎の記録がロックされているので、ボールジョイント周りのリングを緩めたり動かしたりしないでください。



2 デジタルキューブを技工士キューブホルダーに取り付け、キューブナットで固定します。技工士キューブホルダーは別売りです。



3 キューブを技工士キューブホルダーに挿入し、キューブと咬合がスキャンングビューに入っていることを確認します。必要に応じて、キューブホルダーアームを調整してください。



4 キューブホルダーアームを調整するには、ホルダーの下部のネジを緩めて、デスクトップスキャナーにフィットするように前後に調整します。



5 技工士キューブホルダー内のキューブと咬合をデスクトップスキャナーでスキャンします。



6 キューブと咬合がスキャンされたら、3Shapeプロトコルを続行するか、デジタルポータルにファイルを提出して、ウェブサイト上のアーティキュレーションとデジタルアダプタ処理を行います。